

豪雨シーズン
到来

日頃の備えが

今すぐ始めよう 風水害対策

昨年10月の台風19号は、全国140か所で河川の堤防が決壊し、多くの尊い命が犠牲になりました。大田区においても、大規模な浸水被害が発生し、多摩川はいつ決壊や越水が起きてもおかしくないほど事態が切迫しました。

風水害においては、被害が発生する前に避難行動をとることがあなた自身や家族の命を守ります。

区は風水害発生危険が高まると、気象情報や河川管理用カメラなどを駆使して、状況を把握し、分かりやすい情報発信を行います。

これから雨が多い季節になります。ご自身でも日頃から風水害への理解を深め、いざというときに早めの避難行動をとれるように準備しておきましょう。

令和元年
台風19号上陸時の
大田区の様子



▲多摩川 (令和元年10月12日撮影)



▲区内の浸水被害 (令和元年10月13日撮影)
写真提供：東京消防庁

台風などの風水害は事前の備えが重要です

避難先は決まっていますか？

水害時緊急避難場所は、多くの方が避難するため、密集・密接状態となり、新型コロナウイルス感染拡大の要因となります。まずは、水害時緊急避難場所以外の避難先を複数検討しましょう。



避難先の例

- ・親戚や知人の家
- ・ホテルなどの宿泊施設（自身で確保）
- ・自宅（居住継続や2階以上への垂直避難）

自身で避難先を確保できない方は、「水害時緊急避難場所」に避難してください。

●開設場所

区立小中学校（額町小、多摩川小を除く）、コミュニティセンター羽田旭、ふれあいはずめま、北蒲広場、こらぼ大森

避難するときや居住継続に必要なものを準備していますか？

早めの避難行動がとれるよう事前に非常持ち出し品の準備をしておきましょう。また、居住継続のために、家庭内備蓄を見直すことも大切です。家族と相談しながら、必要なものをリュックなどにまとめておきましょう。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料（お菓子やレトルト食品など） | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 飲み物 | <input type="checkbox"/> 携帯トイレ |
| <input type="checkbox"/> 常備薬、常用薬 | <input type="checkbox"/> 携帯電話と充電器 |
| <input type="checkbox"/> お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 延長コードと電源タップ |
| <input type="checkbox"/> 保険証 | |
| <input type="checkbox"/> 着替え | |
| <input type="checkbox"/> タオル | |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | |
| <input type="checkbox"/> 汗拭きシート | |
| <input type="checkbox"/> 貴重品 | |



今のうちに
まとめておこう

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために

水害時緊急避難場所へ避難する場合は、感染症対策のため、マスクなどを持参してください。

- マスク
- 消毒液
- 体温計

